

令和4年度第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 令和4年6月23日（木）午後1時～3時30分

場 所 多摩市立図書館 本館 講座室

出 席 えほんの会、おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークル ピエロ、もりの文庫

欠 席 ひなたぼっこ

開会

（事務局）

（資料の確認）

- 1 令和4年度第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会
要点録（案）の確認

（会長）

特に意見がないため、確定とする。

- 2 新委員の紹介（委員の変更について）

（事務局）

（資料1に沿って説明）

（えほんの会）

あいさつ

- 3 報告事項

（1）電子書籍、LLブック、マルチメディアデジジーの利用状況について（令和3年度）

（事務局）

（資料2に沿って説明）

（コアラ文庫）

電子書籍の洋書コンテンツで多く購入した言語は何か。英語が中心なのか。

(事務局)

現在資料が手元にないので正確には答えられないが、英語だけではなく他の言語のコンテンツも購入した。

(多摩おはなしの会)

LL ブックについて、館ごとに貸出冊数の幅がある。各館で PR を行えば今よりも利用が見込めるのではないか。

(事務局)

昨年度の 1 2 月に LL ブック PR の月間を設けた。今年度もそのような機会を設けたい。令和 3 年度以降、LL ブック用のコーナーを全館に用意した。展示などを続けていきたい。

(おはなしチャチャチャ)

絵本は 2 タイトル、複本を多数所蔵という事か。おはなし会で使用した覚えがある。

(事務局)

絵本は 2 タイトルの所蔵である。

4 意見交換

(1) 「各館おはなし会」の感染防止対策について

(事務局)

(資料 3 に沿って説明)

(つくしんぼ文庫)

この対策についてはいつから施行する予定なのか。

(事務局)

これから各館に通知を行う予定である。

(2) 児童館、保育園等でのおはなし会実施にあたってのご協力について

(事務局)

(前回資料 10-2 に沿って説明)

これから児童館、保育園に具体的なおはなし会実施について調整を行う予定である。それに伴って、ご協力いただけるボランティア団体を募りたい。

(多摩おはなしの会)

ボランティア団体に呼び掛ける際には内容を図書館が定めた上で行ってほしい。

ボランティア団体に一任するのではなく、施設ごとにどのようなおはなし会を行うのか、まずは図書館側が把握し、検討を行うべきである。

(コアラ文庫)

児童館、保育園等でのおはなし会実施というのは、図書館が併設されていない施設に限るのか。

(事務局)

今回のおはなし会は、図書館のPRも兼ねている。おはなし会の部分はボランティアの方に、図書館PRの部分は職員が行うなど、一緒にすすめていきたいと思っている。図書館が併設されていない施設を優先したい。

(コアラ文庫)

図書館職員が出張おはなし会を行うことを検討してもいいのではないかな。

(事務局)

以前は学校や施設などへ出張おはなし会を行っていたが、現在の職員体制や日常の業務量を考慮に入れると、職員だけで安定的におはなし会を続けることは難しい。ボランティア団体の方の協力を仰ぎたい。

(もりの文庫)

現段階でボランティア団体に協力を募ると図書館側の丸投げ感がある。施設ごとにどのようなおはなし会を行うべきか、どのようなおはなし会が必要なのか、まず図書館職員が把握するのが先である。専門家としてその土台を作り、ボランティア団体に依頼を行うべきである。以前から関わっている団体と施設、地域ごとのつながりも考慮してほしい。

(多摩おはなしの会)

おはなし会は図書館業務の一環であると思う。ボランティアに声をかけることがいけないわけではないが、図書館職員が関わるやり方でなければいけないと思う。

(つくしんぼ文庫)

何のためにおはなし会を行っているか、子どもと本をつなぐために何が必要なのかという事を図書館側が主になって考え、ボランティアがそれを支えるというのがあるべき形であ

と思う。児童サービスを行う上で、ボランティアありきの形ではいけない。

(多摩おはなしの会)

今までボランティア団体が行ってきたおはなし会の記録を参考として提供することはできる。

(もりの文庫)

各施設のニーズにこたえるために活用できる、今までのおはなし会の記録がたくさんある。ボランティア団体に通知を出す前に、準備できることがあるのではないかな。

(事務局)

今回の市民ボランティア連絡会は10月である。

今年度に試行でも行いたい気持ちがあるので、今回の連絡会の前にボランティア団体へ意向調査を行いたい。

(もりの文庫)

ボランティアに対して呼びかけをする際には、対象年齢だけではなく、どのようなおはなし会をしてほしいのかを書いてほしい。

(事務局)

内容は具体的に明記する。まずは協力の可否を伺い、個々に調整を行う予定である。

目的のひとつは図書館のPR。ボランティア団体の方々にはおはなし会の部分をお手伝いいただきたい。

(えほんの会)

おはなし会と図書館PRは流れとしてつながっている。相互の関係を意識してもらわないと、ボランティア団体たちは動きづらいのではないかなと思う。

(会長)

ボランティア連絡会として伝えた意見を踏まえて、再検討をしてほしい。

(事務局)

10月の市民ボランティア連絡会を待たずしてボランティア団体へ通知する可能性もある。ご承知おき頂きたい。

(3) 第14回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》及び今後のあり方について

(4) 本館閉館イベント及び中央図書館開館イベントについて

(事務局)

(資料4-1、4-2、5に沿って説明)

(コアラ文庫)

各団体でこれらの議題を共有し、いつまでに意見を提出すればよいのか。

(会長)

全体のスケジュールを確認する。10月の市民ボランティア連絡会では令和6年度以降のほんともフェスタの方向性をまとめていきたい。

(事務局)

今回のほんともフェスタの講師については、この場で挙げた方も参考にしたい。

講師提案は6月30日(木)までとする。

中央図書館オープニングイベント（おはなし会、講演会等）について出た意見

- ・7月1日、2日におはなし会を開催したい気持ちはあるが、現実的ではないと思う。来館者が多く、子どもたちが落ち着いて聞ける環境ではないと思われる。
- ・図書館全体をゆっくりと見たい方もいるので、開館直後におはなし会や講演会などのイベントを行うのは難しいと思う。
- ・「特別おはなし会期間」のようなものを設けてはどうか。
- ・講演会とおはなし会の時間帯は重ならないようにしたい。
- ・開館直後はおはなし室はあえて開放し、おはなし会のチラシ配布を行うのがいいのではないかな。
- ・開館イベントでのおはなし会は図書館職員が行うべきではないか。
- ・7月を「開館月間」としてイベントやおはなし会を行うのがよいのではないかな。
- ・講演会やイベントは絵本の楽しさを伝える企画がいいのではないかな。
- ・夏休み以降の方が子どもたちは来館しやすいので、その頃にイベントを企画してはどうか。
- ・パルテノン多摩のようなプレ内覧会はないのか、落ち着いてみることでよいと思う。
- ・講演会講師については今まで図書館を利用していなかった層でも「行ってみたい」と思えるような人や若い世代の聞き手を意識してもいいのではないかな。

中央館開館以降のおはなし会はどのように行っていくのか。

- ・現在本館で行っているコアラ文庫はそのまま中央図書館でもおはなし会を行うのか。
- ・図書館職員が中心に行うおはなし会もやるべきである。
- ・現在分館でおはなし会を行っているボランティア団体が、中央図書館でおはなし会をやってみたいという事もあるのではないか。
- ・中央図書館は緑陰読書ができる環境なので、外でのおはなし会も開催できるのではないか。

(会長)

中央図書館の開館イベントを考えるにあたって、今後の問題点もあぶり出された。具体的な結論はすぐには出ないが、市民ボランティア連絡会の中でも考える気持ちがあるので、今後も意見交換や提案を続けていきたい。

(5) 第三次計画の進捗状況について

(令和3年度版アクションプランについてご意見、ご感想)

(会長)

今回の市民ボランティア連絡会に持ち越しの議題とする。

5 情報交換及び次回の日程について

次回の日程

10月27日(木)

13時30分～16時 講座室にて

(多摩市文庫連絡協議会)

- ・「文庫連だより」を配付

閉会

(15時30分 終了)